




日塗工 整理No.(日塗工記入)		2014-32		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所							
災害発生日時		2014年 8月18日(月) 15時00分		天候(晴れ)		温度(°C)湿度(%)	
災害区分		○不休災害		休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	塗料事業部技術部		雇用形態 ○正社員、派遣、契約、その他()			
	年齢	28 歳	性別: 男 ○女	勤続年数	2年	経験年数	2年
	傷病名	病名 (切創 縫合なし)					
	傷病部位	左手 人差し指、中指、薬指					
災害発生状況	<p>塗料容器開封時にカッターを使用し切傷した。</p> <p>容器はPP製18Lポリペール缶、新品であったため天板を固定化しているバンドを外すために、バンド接合部をカッターを用い切り離そうとしていた。</p> <p>バンド接合部は溶融接合されており、切り込み溝あり(写真左上)。接合部の切り離しは皮スキを前提とした形状となっているが、作業には一定の力が必要である(写真右上)。</p> <p>今回、被災者が皮スキで切り離しができる力がなかったこと、それに対応した工具が備えられていなかったことから、カッターを用いて接合部の切断作業を行ってしまった。</p> <p>さらに、作業中、カッターの進行方向に左手を置いてしまい切傷した(写真左下)。</p>			状況概略(写真orイラスト)			
							
				(天板バンド接合部)		(通常の皮スキ作業)	
						(今回の事故発生状況)	
災害の型 ^{※1)}		6. 切れ、こすれ		作業の形態: ○定常、非定常、その他()			
起因物: カッター		特記事項					
原因分類	1. 人的要因(man)						
	・カッターを用いたこと、カッターの進行方向に指を置いていたことなどの知識不足						
	2. 物に関する要因(machine)						
	・たまたま適した道具が現場になかった。						
原因分類	3. 環境要因(media)						
	・周りが見過ごしていた。						
原因分類	4. 管理的要因(management)						
	・女性視点でのリスク評価がされていなかった。						
対策	・ポリペール缶開封作業にはカッターを使用しない。						
	・安全に開けられる容器開封用工具を各作業場に設置する。						
	・専用保護手袋を所持するようにし、力を加えるカッター作業時に着用する。(耐切創手袋)						
	・ポリペール缶の易開封化バンドを導入する						
	・女性視点からのリスク評価も組み込み、今後の職場安全作業の向上に取り組む。						
対策分類 ^{※2)} :		1-3、1-4、2-1、2-2、2-3、2-4					
※1) ①から選択		※2) ②から選択(複数可)					